



① 山本書店

明治42年(1909)創業の「山本書店」は、糸とじ本などの古典籍を中心に販売する古書店。特に中国関係と書道を専門とする。漢文で書かれた中国の書籍を漢籍といい、漢籍のなかでも中国で出版されたものを唐本、輸入して日本で翻刻したものを和刻本と呼ぶが、当店は和刻本を扱う日本有数の店。店内はゆったりとしたスペースに書棚や展示用ガラスケースを配置。「ゆるりと陳列し、静かに選書できる」(店主)店づくりも特徴だ。テレビ局からドキュメンタリー制作に必要な資料の依頼や、書道のお手本がほしい、といった相談もあるという。

03-3261-0847
千代田区神田神保町2-7



② 飯島書店

書道関連の古書を扱う専門店として全国に名が知られた存在。壁は書棚で埋め尽くされていて、全集・選集からハウツー本まで書道関連の書籍が詰め込まれている。店内通路中央のガラスケースには、硯で墨をする際の水差しとして用いる「水滴」や、書道界ではテキストとして用いられる法帖、漢代の石碑から写し取った拓本などところ狭しと並ぶ。文化遺産を保護するため、拓本の作成は中国国内で禁止されている例が多く、歴史的にも大変貴重な。奥にある小部屋には、高価な拓本や書家の直筆による掛け軸が展示され、ミニ美術館といった風情。

03-3261-1578
千代田区神田神保町2-3-3 2F



③ 誠心堂書店

神田でも老舗の古書店。和書本の充実ぶりが有名で、江戸初期(寛永年間)からの作品は約1000点にものぼる。書道・日本史・伝記・民俗学・漢文関連書が豊富。和書に詳しくなくても視覚的に楽しめる作品が並ぶ一方、学術資料として一級の書も多い。店舗外観は東京大学や旧帝国ホテルと同じ、黄色の施釉スクラッチタイルで、2003年に千代田区の「景観まちづくり重要物件」に指定された。神田や御茶ノ水を舞台にした映画「珈琲時光」(2003年)でも、主演の浅野忠信が店主役をつとめる店としてロケ地に選ばれており、映画と実物を見比べても楽しい。

03-3262-5947
千代田区神田神保町2-24



④ 一心堂書店

店頭には山積みになされた全集もの、店内に入るとやたらに大判の書籍が目につく。日本の美術書が多いが、その中で特に充実しているのが刀剣や甲冑に関するものだ。向かって右側の棚に揃えられた武具関連の書籍の中には、写真集も数多くあり、それを見ると刀剣や甲冑の美術品としての価値の高さを改めて思い知らされる。刀剣に関しては押形(刀剣の上に和紙を押し当てて、墨で形や茎(なかご)の名を刷りとり、刃文などを描きこんだもの。魚でいうところの魚拓のようなもの)集も充実。武具、武道関連の他には、陶芸や茶道、工芸の本も多い。

03-3291-1300
千代田区神田神保町1-3



⑤ 萬羽軒

平成14(2002)年オープンの「萬羽軒」は、古書画、硯・古筆などを扱う、まさに知る人ぞ知る店。店主の萬羽啓吾さんは良寛作品をはじめとする書の目利きとして知られている。良寛の書、平安・鎌倉の古筆切、いわゆる日本の美しい書を専門に取り扱う。端溪水巖(たんけいすいがん)の硯を中心に、古墨・石印材も多数取り揃えている。文人趣味と日本の美しい書に興味のある方は、ぜひ立ち寄りたい店舗だ。

03-3295-7116
千代田区神田神保町1-27



⑥ 光和書房

中国の古典籍、和刻本、書道の関連書籍を扱う「光和書房」。事務所営業の店舗であったが、令和2(2020)年、駿河台下交差点前に店舗をオープン。気軽に触れることができる近代復刻、影印本、書影や、内容を理解するための解題資料も揃える。書道関係は拓本、書籍、古印、筆墨硯紙も揃っており、書籍に限らず書道用品が並んでいるのが特徴。店内には机と椅子も用意されているので、じっくりと見ることができる。

03-5244-5670
千代田区神田神保町1-1-12 倉田ビル1F



⑦ 文華堂書店

日清戦争以降の戦争関連書籍を専門に扱う店として、神田でもピカイチの知名度を持つ。店先から店内奥まで戦争関係の本がびっしり置かれ、狭い通路前には本探しに没頭する人びとが折り重なるように並ぶ。戦史をはじめ、武将の伝記、外交史、連隊史、洋書、雑誌のバックナンバーなどがジャンルごとに配列されておりまさに戦争関連書籍の宝庫。時が経ち、最初は軍隊経験者がメインだった客層も広がりを見せ、船、飛行機、戦車など乗り物関連の書籍も充実。架空とはいえ戦争を扱っているからか、アニメのガンダム関連書籍が並んでいることも。

03-3262-0422
千代田区神田神保町2-3-12



⑧ 石田書房

映画に関わる仕事をしてきた「映画人」の店主が作り上げる、映画好きのためのお洒落な空間。場所は三省堂書店の裏側、すずらん通りにあるビルの2階だ。台本・シナリオなどの映画関連資料や、脚本集・脚本関連本・黒澤明・チャンバラ映画・日本映画全般・映画評論などの映画関連書籍を専門に扱うお店で、日活映画・ゴダール・トリュフォーなど、ヌーベルバーグ時代関連の書籍を扱っている。映画に登場する小道具や装身具などの美術に関する書籍もある。本棚はきちんと分類・整理されていて、どこに何が並んでいるのかとても分かりやすい。

03-3292-7525
千代田区神田神保町1-19 藤本ビル2F



⑨ 田村書店

仏独文学を中心にヨーロッパの哲学・歴史・美術に関する書籍、洋書の稀覯書を扱う専門店。入口両脇には神社の千社札のように、全集の値札がこれでもかと言わんばかりに、数限りなく貼られている。扱う全集の数が多すぎて、実物はお店の人に頼んで出してもらわなければならないほど。1階には日本の近代文学や、西洋の古典を中心とした翻訳もの、哲学書やその研究書、2階には洋書が並ぶ。蒐集家には料理本(原書)、挿絵本、美麗装丁本が特に人気。店頭では日本一質が高いと言われる特価セールが行われ、いつも多くの人でにぎわっている。

03-3291-0563
千代田区神田神保町1-7



⑩ 山田書店 美術部

浮世絵から現代版画まで幅広く取り扱う「山田書店 美術部」。店名には「書店」としているが、どちらかというと画廊、もしくは美術館のような空間が特徴的。店内にはガラスケースと引き出しが並んでおり、引き出しの中は客自身が閲覧することができるシステム。店舗は2階だが、上がるまでの階段脇には展示ケースが設置されており、目を見張る珍しい品が並ぶ。作品に限らず、画集や展覧会カタログといった美術関連書籍も取り扱っている。

03-3295-0252
千代田区神田神保町1-8 山田ビル2階



⑪ 農業書センター

日本で唯一の農業所専門の書店、「農業書センター」。平成26年(2014)に大手町ビルから移転し、現在の場所へ。農業に関する書籍を約36000冊販売しており、一般書店では入手することの難しい専門書も揃っている。技術書、専門雑誌から料理本や園芸の本まで、店頭に並ぶ本は多岐に渡る。専門家でなくとも十分楽しめる店である一方、マニアックな本も多く、訪れる度に新たな発見がある。スタッフの方に声をかければ、本選びの相談にも快く応じてくれる。店へ続く階段はギャラリーになっていて、そちらもおすすめ。

03-6261-4760
千代田区神田神保町2-15-2 第1富士ビル3階



⑫ 愛書館 中川書房

平成24(2012)年にオープンした、古書全般を扱う「愛書館 中川書房」。靖国通りから1本入った路地裏、文華堂書店の隣に店舗を構える。買取りによる仕入れが多いため、いつ何が入荷するかはその時々のお楽しみ。全集・歴史・宗教・哲学などの専門書、美術・建築・写真など趣味の本、和本・版画などの古典籍、岩波文庫・講談社学術文庫・ちくま文庫などの学術系を中心とした文庫本など、幅広く取り扱っている。

03-6272-8998
千代田区神田神保町2-3-11



選んだスポット



つながるスポット

Copyright(c) NPO 法人連想出版

